

二、寺沢広高判物（折紙）

解説

元和二年（二六一六）、豊後白杵の稲葉家を離れ、肥前唐津の寺沢家に仕官した岡部善右衛門尉に対し、唐津藩主寺沢広高が、肥前国松浦郡普恩寺村（現在の佐賀県玄海町）の内二百石を与えたもの。寺沢広高は豊臣秀吉に仕えて肥前唐津城主となったが、関ヶ原の合戦では東軍に属し、恩賞として肥前・肥後に十二万石を与えられていた。寛永十年（一六三三）に没している。